



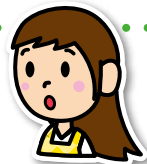
保護者から放射線を測って欲しいと言われた場合は、測る必要があるわよね？

測らないと安全が確保できない状況では、測ることを優先すべきですが、このような優先順位は状況に応じて考えてみるのも良いのではないのでしょうか。



線量率測定の優先順位の例

- より長い時間滞在するところの線量を把握するようにする。
- 測定が十分ではなかった木登りする木の幹の線量率を測るようにする。
- よくわかっているところでは測定の頻度を減らしたり、測定点を減らしたりする。



測定や対策をやると決めた後、いつまで続けるかも悩むわ…。

状況や事情によって、対策を見直すことも必要ですよ。



専門家等に相談して、その方法の方向性が良いか保証を受けるのも有効だね。

近隣の教育機関の支援を得よう



(出典) 福島高専布施雅彦研究室より

広がる放射線教育

テーマごと「ミニ研究」 福島高専 専門知識・技術を習得



いわき市の福島高専は、放射能や放射線に関する専門知識・技術を身に付けた人材の育成力を入れて、今年度から「ミニ研究」の取り組みを強化している。今年度は、放射線計測や放射線防護に関するミニ研究テーマを設定し、学生が主体的に取り組むことで、専門知識・技術を習得し、実践力を高めることを目指している。今年度は、放射線計測や放射線防護に関するミニ研究テーマを設定し、学生が主体的に取り組むことで、専門知識・技術を習得し、実践力を高めることを目指している。

平成27年3月8日福島民報新聞掲載

除染情報プラザの専門家派遣制度を利用しよう

園医に率直に相談しよう

自治体の相談窓口を利用しよう



(出典) 福島高専布施雅彦研究室より



自治体での実習を交えた講習会の様子

地域で活動している方々との連携を図ろう



1/23(金)新聞に掲載いただきました。

福島民友新聞「2015年勢特報」の中で、私たちの活動を取り上げていただきました。



子どもを守る活動継続
行健除染ネットワーク 郡山市
行健除染ネットワークは、福島県郡山市を中心に、放射線除染活動に取り組んでいる市民団体です。今年度も、子どもを守るための活動として、市内各地で除染活動を行いました。また、市民の意識啓発や、子ども向けの除染体験イベントも実施しました。

平成27年1月23日福島民友新聞掲載

(出典) 行健除染Net.HPより